大正十二年十月二十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊

十二月廿一日（木）

發行所　新京日日新聞社

昭和八年の回顧（廿一）
暴利取締令で不逞商人に大鐵槌
新京署を通じて見た一年（上）

急激な人口の增加と共に複雜化した新京署を顧みると實に多事多難の一年であつた、同署では都市の膨脹人口の增加により幹部並に巡査巡捕の增員とゝもに從來衛生執行主任は警務、保安兩主任が兼務であつたのを切はなし新に警部主任を置き新陣容を整へ事務の遂行を圖るとゝもに更に新住宅地帶である白菊町、新發屯に巡查派遣所を新設、廳舍の增築、大和通派出所の改築と相俟つて關東廳の分散配置で農安分署に警部以下巡查部長、巡查二十名を配置し、首都警察廳と協調を保ち國都新京の治安維持に努め、都市の守を强固にならしめる一方署內は各係で押し寄せる繁雜なる事務を雜なく片付けた、その內最も複雜化したものは押寄せた人口增加から必然的に起つた家屋拂底による暴利取締令、家屋の立退き、交通取締、特に驛前廣場の左廻り實施、劇場の紛爭と常設館の改善、ペストの防疫、暗夜市內の街々に起る血腥い殺人、强盜事件の檢擧、滿洲國攪亂のスパイ潛入の警戒等である今最も多忙をきはめた保安司法を見よう

△……▽

過渡期における新京は一層の繁雜をきはめ、一日平均三十人以上の內地人が陸續として押寄せたゝめ忽ちにして附屬地の家屋は拂底を見、家賃は天井知らずでぐん〳〵吊上り家主借家人間で血の出る樣な紛爭が續けられた揚句保安係に解決方を願出ること三百余件、物價は日一日と暴騰するを見るに見かねた關東廳は遂に暴利取締令の寶刀を拔き徹底的に暴利を貪る不逞漢を取締ることになつた、暴利取締令は明治以來大正八年の米騷動と大正十二年の關東大震災と新京の現在　三回に過ぎない實に珍な出來ごとであつた、同取締令に基き同係では井之上主任以下全員が大童となり家賃、旅館、下宿業、小賣商人の物品その他料亭、カフエー、飲食店に至るまで嚴密な調査を行ひ、確固たる信念を以て目的の貫徹に努め營業停止、下宿、旅館の値下を斷行した

△……▽

次に難問題として飛び來たものが家屋の立退問題である、同問題も恐らく全國の警察で前例のない多くを解決したが、その數は日滿人を合して五百四十三件、それに參加した人數は二千五百余人の多數である、この內には二十四戶、家族百六十余名の大口のものがあつた、又は裁判所で借家人が敗訴の判決を下され强制執行の處分を受けた市內祝町二丁目金剛寺裏の借家人四戶二十四人の歎願から遂に井之上保安主任が乘出し一戶宛三十圓の立退料を支拂はしめて解決させた

△……▽

その他內地から國都新京に運ばれ血に燃える青少年の渡滿者の人事相談に努め旅費のなきもの又は住むに家なき者を次ぎ〳〵と片付けた數も非常なものである、交通機關殊に自動車の增加で市街は輻輳した關係から荷馬車專用道を定め又は十一月一日から驛前の雜沓を防ぐため諸車の左廻を實施し、一日から十五日までを指導期間、同十六日から强制期間とし、交通觀念の乏しい滿人を指導したゝめ一ケ月をたゝない內に完全に左廻の智識を植付け好成績を見危險な交通事故を未然に防止することが出來た、その他

△……▽

新市街地に出現した、料亭、置屋、待合の、三業を統一した、組合の如き從來新京になかつた料亭券番制度が設けられた、カフエー料亭の進出で續々と許可し自由競爭主義をとつた關係上漸次改善向上した、今十一月末日の特殊婦女カフエー、飲食店料亭を見ると待合三軒、料理店五十四軒置屋四軒、カフエー三十四軒飲食店日本人百四十五軒、滿人七十五軒、藝妓四百五人、酌婦二百五人、女給三百七十三人、雇婦女三百十人であると飲食店昨年一ケ年に比すると飲食店九十四軒を筆頭に、カフエー十九軒、料理店十四軒、待合四軒、置屋四軒、女給百八十四人、酌婦六十人、藝妓五十九人、雇婦女五十七人のいづれも激增である

惡稅撤廢方を各機關に陳情
在滿朝鮮農民達が

在滿朝鮮農民の最も苦痛とする非合理的惡稅が未だに廢止されないといふので間島、開原在住朝鮮農民ら約三百名連名の上このほど滿洲國實業部總長その他日滿關係各機關に宛て左記嘆願書を提出した

嘆願書

我等朝鮮農民が滿洲國に居住する以上滿洲國に對する納稅其他の義務は絕對に負ふと共に法規を以て定められたる範圍內の權利は當然享有せらるべきものと信ず

張學良時代舊軍閥の橫行する際は彼等の特有の苛斂誅求る手段に依り殊に在滿百萬の朝鮮農民はあらゆる侮辱を加へられその上年中汗血の結晶とも謂ふべき收入は每年朝鮮人を壓迫すべく制定したる各種の惡稅徵收に依り完全に搾取され來りたり

滿洲事變の際は敗殘兵及匪賊の爲の精神的並物質的に莫大ならざる損失を蒙り相當犧牲を拂ひたるも之は舊軍閥を退治し以て王道樂土を建設する前提にして之れが若し實現せらるゝ場合は我等朝鮮農民も從來の壓迫政策より脫し新光明に接し得らるゝべく信じ今日迄隱忍自重し來りたる所果せる哉滿洲國は獨立し舊軍閥は自然消滅せられ同時に王道政治を布くに至りたるを以て我等朝鮮農民は雙手を上げて歡喜したり

然るに其後の經過如何我等朝鮮農民に對する政策は一つとして改革せらるゝことなく舊軍閥時代の政策をその儘踏襲し不相變朝鮮農民は窮狀を脫し得ざる觀なきにあらず水利稅は元來農民を保護し以て水田事業を發展せしむべく農民の力を以て設備不可能の灌漑水道を政府に於て之れが施設を爲し其の費用を回收せんが爲に制定せられたるものなるに張學良の時代に至り國土侵入の先驅者と見られたる朝鮮農民を壓迫し水田耕作を防害する一手段として水利稅の規程を惡用するに至り何等の補助施設を爲さず稅金のみを無理强徵し來りたる惡稅なり之を今尙徵收するは協和王義機會均等を高唱する新興滿洲國の精神に違反せらるゝのみならず滿洲國人に對しては事變當年の地稅を免除したるが如き事情に照すときは之れ全く朝鮮農民に對する差別的待遇にあらずやと悲觀し止まざる次第なり

前述の如く我等朝鮮農民は合理的の義務は負ふべきも非合理的の納稅及其他の義務には絕對に服從し難き次第なり以上は不平を云ふものにあらず反抗せんが爲めの反對にもあらず實際の事情を嘆願する次第なれば此の點特に御考慮下され從來水田事業を阻害し朝鮮人壓迫の道具に惡用し來りたる水利稅及其の他非合理的のものは此の際撤廢する樣奉懇願候也

陸軍異動追加
【東京二十日發國通】

陸軍省　新聞班長　中佐　鈴木貞一

任陸軍大佐

滿支經濟運動の擡頭表面化

【奉天廿日發國通】滿洲國の治安確立に依る在滿大小商工業者の發展は愈よ活況を呈してゐるが、情報に依れば北支經濟會は長江筋の農村疲弊に伴ひ、購買力減退、並に貨幣の極端なる都市集中に金融拘束せられる結果、最近同地方の工業の操業狀態は平均五十%程度であるが、政府首腦者も內政問題と難關破碍に汲々たる有樣で何等救濟策を考究せず、商工業者は自然自力更生によるの外なき結果、滿支經濟提携運動の擡頭は最近著しく表面化し來つたが、最に天津銀行の奉天支行設置計畫あり、この種の支那資本家の滿洲進出は反滿運動を尻目に益々活潑の度を增すものとみられ、注目されてゐる

お斷り

小說「生命線をゆく」は第四十八回分と第六十回分と入れ違ひにつき今日より改めて第四十八回分から掲載します

七虎力河畔の自衛移民部落
千振村と改稱

北滿七虎力河畔に入殖せる拓務省第二回自衛移民團は冬營の準備を了へ目下、來るべき春耕に備へるための移民教育を施してゐるが、最近屯墾部落の名稱について種々協議せる結果、七虎力の滿洲讀みチフルをもじつて日本讀み千振村と命名することに決定した

日滿悲曲

生命線を行く

國友雄吉（荒川芳三郎畫）

（四十八）

日本の兒童！

それから、小使の金の案內で、一同は學校の炭小屋に隱れた。十六人の生徒たちは——親兄弟の安否さへも知ることのできない生徒たちは、互にヒシと手を握り合つて、死んでも離れまいと、息を殺して居た。

永川訓導は、戶口の處に立塞がつて、萬一、支那兵が亂入して來るやうなことがあつたら、身を以て十六人の可憐な生命を救はうといふ決心であつた。

しかし、十六人の兒童たちは、誰一人として泣く者は無かつた。健氣な——子供たちよ！

「あなた方は、世界に誇る日本人です」

訓導は振り返り〳〵子供たちを激勵した。

しかもその訓導は、あまりにも健氣な兒童たちの振舞を見ては、いかに氣丈でも、到底泣かずには居られなかつた。

泣くなと激勵する訓導は、泣けて泣けて仕樣が無かつた。

そのうちに夜が來た。

不安な夜の恐怖の闇の中に、銃聲は絕えなかつた。

朝から晚まで、一杯の水さへも口にすることの出來なかつた生徒たちは、さすがに、空腹を感じて來た。

そこへ、小使の金が、袋に一ぱいの黑パンを抱へてやつて來た。

「同じ支那人の中に、こんな美しい心の男も居るのだ！」

永川訓導は、淚とともに、そのパンを押し頂いた。そしてその儘なパンは、兒童たちに配られたが、訓導は、その一片だも口にしなかつた。飢ゑと疲勞とが、訓導の體を綿の如く疲らせたが、しかし彼の精神は「兒童のために！」張り詰めてゐた。

さうした不安と、苦痛の一夜は明けて、廿八日の朝は來た。しかし恐ろしい銃聲は、まだ鳴りやまなかつた。

そして、その日の午後三時。

この炭小屋を訪れたのは山崎領事であつた。永川訓導を初め、十六名の生徒たちは、我を忘れて、思はず歡びの叫びを揚げた。

しかも領事は、一夜の中に、見ちがへるほど窶れ果てゝ、悲痛深刻な顏であつた。

そして領事の身邊には、多くの支那兵が、鬼のやうに銃劍を突つけて、取卷いてゐるではないか。

領事は、靜かに言つた。

「永川先生、ありがたう〳〵。よく兒童の命を救つてくれました。皆さんはもう心配はありません。」

「領事館へ引揚げてください」

「領事さま、御心勞お察しいたします。私は死んでも構ひませんが子供を、一人でも殺すまいと思ひまして——」と、訓導は、咽び泣きながら、言ふのであつた。

それから子供たちは、先生と一緒に領事館へ引揚げた。

引揚げて行く路々、支那兵たちは銃劍を突きつけて護衛して行つた。護衛でなく、寧ろ追立てゝ行くのであつた。鬼にもまさつた彼等は、頑是ない子供にまで、言ふに忍びない暴行を加へた。

銃の臺尻で毆るくらゐはまだ輕い。銃劍で突く。唾を吐きかける。女の兒の、髮の毛を摑んで、引ずり廻したものもあつた。

あゝ、何といふ野蠻殘忍であらう。

この兒童たちと前後して、危ふく難を逃れた日本人は、老幼男女が、救ひの馬車で運ばれながら、領事館の日章旗を目指して引揚げて來た。

その人々の中には、寢卷一つ、シャツ一枚といふやうな、濺ぐましい姿の人さへあつた。

しかし、市子と茂敎、彼等親子の姿は、その雜沓の群人の中に、見出すことはできなかつた。

二人は果して何處へ行つたのだらう？

生か？　死か——？

哀れ、親子の運命は如何に——

齋藤首相 近く政民總裁と西園寺公をも訪問
五相會議、内政會議經過を報告 極力諒解を求めん

〔東京二十一日發國通〕内政會議も愈よ來る二十二日を以て農村匡救問題に對する根本方針を決し、年内には該會議も一段落となる豫定であるので、政府でも最に政民兩黨より夫々政策提示をうけて居る關係上、齋藤首相は近く鈴木政友會、若槻民政黨兩總裁を訪問し、諒解を求めたる後、過般開かれた國防、外交に關する五相會議及び内政會議の經過並に結果等につき詳細説明して、來議會の支援方を懇請する模樣で、齋藤首相は二十日午後の高橋藏相との會見の席上、兩黨總裁訪問の準備的打合せ及び議會對策其他に關し隔意なき意見の交換を行つたものと觀られ、更に政民兩黨總裁訪問に前後して西園寺公を訪問、同樣諒解に努めることになる模樣である

政民提携運動で
中島商相聲明書發表

〔東京廿日發國通〕政民兩黨の提携運動に奔走中の中島商相は廿日左の聲明書を發表した

憲法存在し議會政治の認められる以上政黨の存在を意義あらしめるは憲政擁護上肝要にして、政黨の信用乏しきとき政民領袖が從來の行き掛りを忘れ一黨一派の私を捨てゝ天下國家の公を執らんとするは建設の爲喜ばしい、今や我國は内外非常の時局に際し擧國一致し善處するに切なるものあり今度の會合が國論統一の端緒となり、國家の爲意義あれば斡旋者として本懷なり

提携問題に就き商相語る

〔東京二十一日發國通〕政民提携に乘出した中島商相は同問題に關し聲明を發したが、同樣の意味で左の如く語つた

二十日朝政民兩派の某々が秘かに兩黨提携に仲介の勞を乞ふたので、余は承諾して招待狀を出した、提携談は大演習前後に起り其時仲介を頼まれたが、回答を保留してゐた、一進一退あり具体化せぬ内に少壯派間の提携談進み之に押されて今日に至つた、二十五日の會合で申合せ位出來るかも知れない、何れも諒解し反對の筈はない、余の仲介は一回だけだ

連繫運動と政府側の意嚮

〔東京廿日發國通〕政民兩黨の連繫運動問題に對し政府側では左の如き見解を有してゐる

現内閣は政黨を無視するものでなく、組閣の當初より政民兩黨に基礎を置いて來たものである、從つて兩黨が政黨の信用恢復に努力することは政府としても望ましいことである、然し乍ら此の運動が倒閣運動を加味するものであれば、政府としても對策を講ずる必要がある、政府は何れにしても暫らく成行きを靜觀せんとするものである

政友は好感を以て迎ふ

〔東京廿一日發國通〕政友會は中島商相の斡旋を非常な好感を以て迎へ、共通の利益には提携して當る機運を釀成し對内閣態度に同一步調をとる可能性を多くし現内閣が倒潰した場合、次期政權が政黨を無視する場合、協同戰線を布く下準備のためにも圓滿なる進展を希望してゐる

政民兩黨 聯合の決意つかず
漠然たる協力申合せか

〔東京二十一日發國通〕民政黨では中島商相の政民提携によつて議會政治の革新を圖るといふ聲明は行き過ぎの嫌ひありとして二十日町田、川崎兩總務は下打合せをなし、又松田幹事長は昨朝若槻總裁を訪問して諒解を求めたが、具體的の政民提携へ進展させる決意がついたのではなく唯時局問題に就て懇談を重ねた程度と觀られてゐる

兩黨中には「内閣支持派」、聯合の力で内閣を打倒し、政權を政黨に有利に導かんとするものあり、何等かの目標を立て倒潰を圖る者等、異つた動機の蠢動あり、感情上の思惑もあり、簡單には行くまい、併し共通の惱みを有するから漠然と共同するとか言ふ如き抽象的申合せを爲す程度に止まるものと觀られる

陸相の貴族院各派委員招待と席上の質疑應答

〔東京廿一日發國通〕荒木陸相は昨二十日午後二時貴族院各派の諸委員を招き豫算内示その他を説明、左の如き質問があつた

問 軍民離間の聲明の意向を問ふ

答 對外的意味で發表した

問 五、一五事件公判の被告の陳述は、治安を害するものではないか、如何

答 その點遺憾だ

問 陸軍將校連佐が靜屋慰安會を計畫してゐると云ふが、軍人が政治に關係するのは惡いことだ、豫備將校連のやることでも面白くない、最近軍部の怪文書が頻りに現はれるが取締る積りか

答 極力取締る方針だ

外務辭令

〔東京二十日發國通〕

大使館參事官 酒句秀一
總領事 堀内謙介
任高等官一等（各通）

任總領事 命吉林駐剳 領事 森岡正平
任一等書記官 命米國大使館在勤 大使館二等書記官 三浦武美
任二等書記官 命ポーランド國公使館在勤 公使館三等書記官 木下武雄
任公使館一等書記官 命カナダ公使館在勤 後藤鎰尾

滿鐵改組案で
首相解決策に苦慮

〔東京廿一日發國通〕滿鐵改組案は愈よ中央部に移され關係各省間の折衝が開始される事になつたが、此の問題に關する關東軍案に關し拓務、大藏、外務の三省は急激なる改革に反對して居り、二十日も永井拓相は高橋藏相を訪問して改組案の内容を報告協議する處あり、齋藤首相が藏相と會見した時も此の問題に觸れて協議されてゐる程度で未だ具体化的折衝に入つてゐないか、政府としては休會明け迄には方針を決定して置かねばならぬため、近く關係者の間に折衝が開始される事となるが、右の如く軍部と拓務其他の間に相當意見の懸隔ある爲め、齋藤首相は此の間に處して圓滿なる解決を圖るべく苦慮してゐる樣である

改組問題 殆んど質疑無し

〔東京廿日發國通〕滿鐵株主總會後の二次會に於て、林總裁も八田副總裁も改組問題に就ては簡單な演説を行つたのみで之に對する株主の質問も一名のみで午後三時散會した

浙江總攻擊の命を受け
福建軍三路より北進

〔福州廿日發國通〕浙江總攻擊の命を受け緩漫なる北進を開始した福建軍は、目下

一、延平より仙霞嶺經由常山の經路を執るもの

二、屏南、壽寧より西溪經由泰順に出でんとするもの

三、霞浦、福鼎より分水嶺を越えて平陽に出でんとするもの

右三路に分れて前進中で、第二路に向つた軍の先鋒は目下浙江省内の泰順に達してゐる尚第一方面軍總司令蔡廷楷は延平に在つて全軍を指揮してゐる

中央財政の支配權を得
藍衣社の全面的統一計畫

〔奉天廿日發國通〕蔣介石氏を主裁者とする藍衣社は最近再び暗躍を開始し、蔣伯誠を指導官として察哈爾、綏遠、東三省に地盤を獲得し、蔣介石獨裁政治實現を企圖しつゝあるが、蔣介石氏の腹心たる孔祥熙が財政部長に就任して以來活動資金の缺乏になやんでゐた同社は中央財政の支配權を完全に把握し、之を機とし全面的統一を計畫、去月漢口に於て全体會議を開催、今後の方針、指令に就き協議したが、その主題は藍衣社を中心とした蔣介石直系團体の編成及びその外廓的軍事組織として浙江、安徽、江西、湖北、河南の五省民團を組織し之を理想的に訓練し、萬一に備へる等であるが成行きは注目されてゐる

北支に反動分子橫行
天津戒嚴的警戒

〔天津廿日發國通〕北支に於ける反動派の蠢動は最近益々旺んとなり、支那側當局では之が抑壓に懸命になつて居る折柄、三日夜北寧線楊村西方で鐵橋を爆破すべく爆彈裝置中の二名の怪漢を巡邏看視員が發見、犯人は直に逮捕された、又十七日夜天津市黨部に於て福建事變の對策協議中同市黨部室内に爆彈裝置されてゐるを發見、危く爆破は未然に防いだが爲に省當局は異常に神經を尖らし年末を控へて天津一帶は戒嚴狀態の警戒を爲してゐる

陳濟棠射擊さる

〔廣東十九日發國通〕陳濟棠が十七日朝夫人令息同伴梅嶺よりの歸途龍眼附近で十數發の射擊をうけた事件があり、公安局では十八日朝砲兵者たる同地の第三警衛小隊長以下八名を逮捕嚴重取調べ中であるが同事件は反蔣反南京派と關係あるものと觀られ今後も此種の事件は尙ほ續出するものと見られて居る

通車開始は
滿洲國を承認するもの 立法院は此暴擧を制止せよ
鄧、蕭、唐等孫科へ打電

〔廣東廿一日發國通〕北寧線通車問題に就き鄧澤如、蕭佛成、唐紹儀の三名は、本日立法院長孫科宛明年一月一日より直通開始は日、滿、支の協定成立せるが、之は支那が率先して滿洲國を承認するものであり、立法院の權限を以て斯の如き妄擧を制止し、國家の危急を救へと趣旨を電報した

改組問題等
菱刈長官朗に語る

〔大連二十日發國通〕菱刈長官は日下内務局長、渥美參謀、今岡副官、鶴見書記官、篠原秘書官、上島屬を從へ年末事務管掌のため二十日午後七時三十分「ハト」で着連、小川大連市長、伍堂、山西兩理事その他官民多數の出迎を受けた後直ちに自動車を驅つて旅順の長官々邸に向つたがこれより先長官は列車中で左の如く語つた

やあ！御苦勞大連はどうかね、面白い話はないか、改組問題はどうだ

と挨拶も語らぬ中に例の如く朗かに記者團に先手を打つて話しかけ改組問題につき

記者 中央では各方面で反對の聲を聞く樣ですが

長官 何れにしても愈よとなればそうたやすくは行かぬ

記者 案の説明に現地から行かれるか

長官 説明に行かなければ解らぬ樣な案なら出さぬ方が好い、滿鐵改組より政府全体の改組はどうかね

と話頭をそらそうとするのを更に追求して

記者 一九三五、六年の危機とどんな因果關係があるか

長官 常に非常時ぢやないか、別に三五、六年の危機が今更どうかう云ふ程のことは無からう、國民はいつも非常時局の心掛があつて好いだらう

記者 相當の反對は押し切つても現地案の實現に邁進するか

長官 現地案、現地案と言ふが改組は政府がやることぢやないか

記者 政府がやるより寧ろ政府にやらせる爲めにその機運を作り動機を與へるための軍案か

長官 まあ動機にはならう、どうせやるなら早い方が好い

と要點を避け乍ら「來年は戌年だなあ」と次から次に話頭を轉じ、盡くるところなかつた、尙長官は數日旅順に滯在年内には歸京の筈である

兼井鴻臣氏東上

兼井鴻臣氏は十二月廿日香港より携行し來たる廣東產蘭（豐歲、鐵骨素心）を石丸中將の手を經て執政に獻上し、廿一日關東軍訪問最近の南支情報報告の上廿一日午後十一時離京、途中奉天に井上司令官、京城に宇垣總督、賀田商工會議所會頭を訪問の上東上の豫定であると

金新京市長 糖尿病で辭任か
近親者極力辭任慫慂

去る十七日歸滿した金新京特別市長は船内で再發した糖尿病のためそのまゝ大連星ケ浦で療養中で年内一應歸京更に來春早々赴連靜養を續ける筈であるが近親者はこの際市長辭任の上充分療養につとめるやう極力勸說中である

ル大統領が
低關稅政策を採用か 世界經濟恢復策として

〔ワシントン十九日發國通〕ル大統領は世界の經濟恢復の手段として低關稅政策を採る事に決し、既に特別通商委員會を任命し、これが研究に當らしめてゐる、大統領はその一つの手段として中米諸國との間に會議を開き現行條約の改訂を講ぜんとする意向であると、一方國務省は今日まで承認しなかつたサルバドルのマルチネス政府を原則として承認するに決したと傳へられて居るが、これは未承認中米諸國に對しても承認を與へる前提と觀られてゐる、右承認は之等諸國が一九二三年の條約改訂に同意することを條件とするもので、米國は關稅互惠條項も挿入することを極力主張するものと觀られてゐる

人事往來

▲郭吉林憲兵隊長二十日午前十一時着吉林から

▲清水三等軍醫正（關東軍軍醫部）二十日午後七時三十分着奉天から

▲藤村少佐（混成第〇〇〇團）同上

▲近藤少佐（同上）同上

▲森中佐（騎兵第〇〇團）二十日午六時五十五分着四平街から

▲小澤少佐（同上）同上

▲生駒局長（拓務省管理局）二十一日午前八時三十分發哈市へ

▲藤根壽吉氏（前國道局長）二十一日午前九時發大連へ

▲西灘間島憲兵隊長二十日午前十一時來京東亞ホテルに投宿

▲森島哈市總領事二十一日午前八時三十分發哈市へ

▲寺田海拉爾特務機關長十九日午後三時二十九分着來京富士屋に投宿、二十二日出發豫定

▲高田大連商工會議所頭二十一日午前十時發大連へ

▲瓜谷大連商工會議所副會頭二十一日午前九時發大連へ

▲中村奉天國道建設處長同上奉天へ

會商更に一轉か
印度側妥協の用意ありと サ代表ボ長官會見談

〔デリー二十日發國通〕印度當業者代表サルカル氏はボーア長官と會見した時の談話として左の通り傳へてゐる

印度政府ではボーア長官の私案たる各品種二割融通を認めることに對し反對が多いが日本の出樣によつては晒割當の不足に就て特に考慮し、晒は二割融通性を承認し、他の品種に就き原案通り一割とする妥協の用意有るものゝ如く、結局印度政府は此の程度で日本の顏を立て事實上晒九分六厘の割當を承認せんとの觀測が印度に起つてゐる

條約起草の
細目討議に入る

〔デリー十九日發國通〕十九日の專門委員會で作成された私案は本條約の附帶條項に挿入さるべき爲替條項で、日印會商はこれで條約起草に關する細目討議に移つたと觀るべきものであり、右私案が日本政府の承認を得ることとなれば次の本會議にかけて他の問題と共に一氣呵勢に解決を圖ることとならう、但し次の本會議までには度々私的交涉或は專門委員會が重ねられるものと觀られてゐる

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊 一八片一六分九

同 選限 [illegible]

孟買銀塊 [illegible]

紐育銀塊 [illegible]

米英爲替 [illegible]

米日爲替 [illegible]

米支爲替 [illegible]

スチール株 [illegible]

アナゴンダ株 [illegible]

▲上海標金（現物・一月限・三月限・五月限・七月限・九月限・十一月限）[illegible]

▲上海日本向（第一回・第二回）[illegible]

▲上海倫敦向（第一回・第二回）[illegible]

▲上海紐育向 [illegible]

▲大連金鈔票 [illegible]

▲大連上海向 [illegible]

新京市況

▲大連當合向 [illegible]

▲阪神日米爲替 [illegible]

▲新京市況（特產 大豆・高粱・包米・小豆 現物）[illegible]

各地市場

▲大阪株式（株新・紡新・鐘新）[illegible]

▲同短期（新・新・新）[illegible]

▲大連株式 [illegible]

▲大阪三品 [illegible]

▲大阪棉花 [illegible]

▲大阪期米 [illegible]

▲仁川期米 [illegible]

▲橫濱生糸 [illegible]

▲神戶豆粕 [illegible]

▲カルカッタ麻袋 [illegible]

例の脱獄犯人 農安近くに潜伏か
清潔檢査官の名義で 部落朝鮮人から料金徵收

既報、新京總領事館刑務所脱獄犯人山崎幸吉、三原政雄、金成鼎の行方につき新京署並に新京總領事館署で協力搜査に努めてゐるが杳として行方が知れず今や迷宮入を傳へられてゐたが、十九日午後四時農安分署から新京總領事館署に達した情報によると農安を離れる九支里西南六間房部落に脱獄犯人二名が潜入し清潔檢査官の名義を使用し朝鮮人から料金を徵收してゐるを探知し同署から二十一日午前六時巡査五名が現地に急行した

鐵道事務所の ボーナス十三萬圓 けふそれ〴〵支給

新京鐵道事務所では二十一日事務員に對し一齊にボーナスが支給された、鐵道事務所のごも〃芳賀所長は他に用向きもあつたが賞與分配のため『外出』も出來ず所長室に所員のボーナス十三萬圓をそばの金庫に仕舞ひこんでニコ〳〵恵比壽顔、十三萬圓とはちよつと多過ぎはしないか？それはその筈、鐵道事務所といへば地方事務所と違つて管轄が廣く四平街、公主嶺、鐵嶺まで含んでゐるから無理もない總額から見て十三萬圓なら前期の賞與と大差なく、率からいつても平均して二十五割乃至三十五割といはれてゐるから前期と殆ど同じもので多いものは四十割位までは出たらしい、けふ中山庶務長の手を經て渡される、尚新京事務所內の受與者は七十余名で『金額』にして一萬六千圓、今夜からこの一萬六千圓といふ大枚が新京にふりまかれる譯である

驛の手小荷物係 お引つ越し

新京驛手小荷物事務所も內外ともにやうやく完成したのでいよ〳〵二十二日から從來の事務所に一、二等旅客待合室から引越す段取りとなつた

滿洲軍用犬協會 發會式を遼陽で擧げる

歐米に於ける軍用犬の歴史は頗る顯著で、吾陸軍でも既に各隊に軍犬班を設け育成所を置きて有事に備へ、關東軍でもこの施設をなすべく遼陽に今回育成所を設け目覺しい軍犬の活動に俟たんとして居る際民間に於ても義に滿洲軍用犬協會を創立し關東軍、關東廳滿鐵、滿路總局、並に滿洲國政府の贊助を得て同じく本部を遼陽に設置し、愈よこれから軍民呼應して軍犬報國の實を擧げることゝなつた、來る廿四日同所にて

午前 九時 滿洲軍犬協會發會式
同 十時半 關東軍々犬育成所開所式

が行はれる、協會現會員は全滿一千名に及び當日は日滿主要人物の參列を以て盛大なる擧式を終り開宴後軍犬高等演技等の餘興がある筈で暮の遼陽は時ならぬ賑ひを呈すると

けさから水道故障 だが一般給水に異狀なし

新京水道第二水源地の新タンク引込管に二十日午前六時ごろ突如故障を生じたゝめ、遂に運轉中止の止むなきに至つたが何分同引込管は鐵道給水が主であるので一般市街給水には大した影響がなかつた模樣である、二十一日中にはすつかり復舊の見込である

元旦の揭揚式 參加歡迎

新京教化聯盟主催の下に來る一月元旦午前七時より新京神社で國旗揭揚式を擧行一般多數市民の參加を歡迎することとなつた

滿洲鐵道界の恩人 藤根氏內地へ けふ官民多數の見送りで 新京驛は大混雜

前滿洲國々道局長藤根壽吉氏は二十一日午前九時新京發南行したが小磯參謀長、宇佐美滿洲國顧問、鄭滿洲國總理代理、荒木地方事務所長を始め官民數百名見送りプラツトホームは全く身動きもならぬ程であつた、氏は鐵道省技師から野戰鐵道時代に來滿して爾來三十年滿鐵から關東軍顧問にまた滿洲國が國道局新設によつて初代局長として就任今日に至つた滿洲鐵道界の大恩人であるが近頃家庭の不幸やまた繁忙な事務に多少健康を害したゝめ暫らく鄕里靜岡に靜養のうへいづれ捲土重來再渡滿する意嚮のやうである

藤影幼稚園 忘年園兒大會

祝町西本願寺の經營する藤影幼稚園にて昨二十日午前十時より本堂に於て忘年園兒大會を催し園兒の父兄其他參觀し頗る盛會に午後一時終了した

恩賜の煙草

畏きあたりから在滿兵士に御下賜になつた煙草は新京には去る十七日到着したがその內齊々哈爾の分の二十二個は二十一日午前十一時半發列車で齊々哈爾に向け輸送された

スケート お休み 二十三日晝夜

二十四日正午から西公園スケート場で全滿スケート選手權選大會が開催されるので、二十三日は同リンクを修繕することゝなつた、これがため當日一日は一般のスケートは晝夜に亘つて一切取止めることになつてゐる

街の日記

豐川稻荷例祭 大正寺で

明二十二日午後一時より市內曙町大正寺にては同寺鎭守豐川稻荷の月例祭を修行すると尙今月は八年度の最終なので盛大に施行する由、檀信各位の多數參詣を希望する

赤玉の隣で 洋品の安賣り

新內東一條通り赤玉カフエーの隣り元條田吳服店の跡に數日前より某地の百貨店の店仕舞品だと言ふ投賣り屋が出張して洋服類より靴下に至る迄幾多の洋品類を半額又は赤札付で安賣をしてゐる店內仲々盛況で又た市價の半値とも言はれ、人氣を呼んでゐるが一般に商品高價に惱む新京市民にとつては年末の福音であらう

太陽ホテル 開業披露

美觀に於て又た設備に於て完備したホテルとし竣工開業を期待せられてゐた小泉泉治氏經營の太陽ホテル、愈よ二十日より開業した、當日は午後四時市內有力者百余名を招待盛大な披露宴を張り事務員を初め華やかな余興あり一同設備內容を見分して午後七時盛會裡に散會したが同ホテルこそヤマトホテルに次ぐ內容をなし豪腹にして親切の小泉氏經營にて前途一般の便明待せらる

落しもの

▲城內西三馬路憲兵分隊憲兵補助平山忠夫氏は帶劍及帶革各一個を十九日午後七時二十分ごろ吉田屋旅館から三笠町を通り中央通を西公園に行く間客馬車上に置き忘れた

▲鐵道北軍用路西三十八號柳田喜雄氏は十九日午前十一時二十分ごろ新京驛から宅中手提蓄音器時價三十五圓を客馬車上に置き忘れた

盜難屆

▲日本橋通七十八番他熊申商會所有自轉車中古品時價十圓を十八日午後六時ごろ同商店前で窃取された

▲高砂町四丁目六番地齊藤長太郎氏方廣重勝二氏は十九日午後八時から廿日午前七時の間に自宅土間に掛けてあつた冬オーバポケツト在中現金六十圓を窃取された

▲吉野町三丁目三番地料亭錦方抱へ酌婦宅間靜枝さんは現金二十圓を十九日午後一時から同三時の間同家二階で就寢中窃取された

▲安東縣市場通八十五番地一木直二氏は十九日午後七時十分ごろ新京驛三等待合で膝掛毛布一枚を窃取された

▲日本橋通中野旅館裏十八號中央警察學校生徒石井繁郎氏は十九日午後五時三十分ごろ曙湯に入浴中赤皮製短靴一足を窃取された

▲中央通十一番地谷口商會店員がゴム板二枚時價十圓八十錢を客馬車に積み日本橋通和祥洋行に行き下車し店內に用達中窃取された

▲曙町二丁目二十四番地元井榮氏所有自轉車一台時價四千圓を十八日午後九時自宅前で窃取された

ソ聯機關紙 滿洲國攪亂を肯定

滿洲國內に於ける頻々たる匪賊の列車襲擊の背後に赤色テロの魔手ありとの疑惑に對し在滿ソ聯機關は「北鐵はソ聯の財產であり自ら之を損する如き行動を採る道理がない」と言つてゐるが、最近ブラゴエスチエンスクの共產黨機關紙アムールスカヤ、プラウダ紙は滿洲人の組織するパルチザン農民及びプロレタリア、反帝國主義及び反建設鬪爭は勞働者階級の前衞部隊たる共產黨が之を指導してゐるなる論說を揭げ、滿洲攪亂の指導に共產黨自ら當つてゐることを明確にしてゐる、更にこの論說は「他國の領土は寸尺も欲しくない、然し自國の領土は一寸たりとも何人にも渡さない」と言ふスターリンの言葉を木葉微塵に粉碎したるものであり、最近の赤露の動向を知る上に於て頗る注目されてゐる

來るべき危機に備へ 滿洲國軍警整備
すべて中央の直接統率下に

滿洲國政府では一九三五、六年の日滿國防危機に處すべく滿洲國軍並びに全滿警察機構の整備、充實を圖るべく目下軍政部並びに民政部に於いて具體案作成を急ぎつゝあるが近く國軍及び警察組織の根本改革を斷行するに決し內は全滿治安維持を確保し、外は日本軍の援助を得て國防第一線の强化を圖ることゝなつた、改革の根本方針は

一、全滿國軍及警察を完全なる中央機關の直接統率下に置きその組織及配置は地方分散主義により統制の實質的效果を擧げるため五縣乃至八縣を一單位とする精銳なる國軍警察の改編を行ふ

一、新組織の國軍各司令官には新進の拔擢を行ふとともに、日本在鄕軍人を採用して指導に當らしむると共に幹部階級の養成、指導につとめ素質向上を圖る

一、警察機構の整備については警察隊及び行政警察に劃然と區分し、警察隊は國軍と協力して地方治安に當り行政機關に隸屬するもので行政警察には高等司法警察を置き、立体的活動をなさしめ、警察隊にあつては國境警察隊、水上警察隊の外產業警察隊を新設して國內產業開發、助勢に當らしむ

元慶應英語教師 歸英後反日論文著書を發表
警視廳が外務省を通じて 英政府に嚴重抗議

（東京國通）曩に慶應其他各學校の英語教師として日本に在住した英人コンロイは歸國後日本に關する反日熱を煽ふるが如き論文を發表し、續いて「日本の驚異」と題する著述を發表した事に就て始めは外務省警保局、警視廳外事科等では之を一笑に付して取合はなかつたが、右書物中には日本滯在中自分は警視廳外事科と秘密關係があつたと云ふ事の外警視廳と連絡した外人關係事件を一々取上げ、あられもない事を書いて日本の警官が共產黨員を拷問してゐる漫畫等を書いてゐるので警視廳では極度に憤慨、外務省を通じて英國政府に嚴重な抗議を申込むと共に檢閱係の手を經て右著書の日本に於る販賣を禁止する事となつた

長崎醫大 學長以下辭表提出

（長崎二十日發國通）長崎醫科大學小室學長は教授會の決定により全教授の辭表を取纏め二十一日中に東上、文部當局に提出することゝなつた

副手學生が 總辭職要求 聲明を發す

（長崎廿一日發國通）上京中の長崎醫大小室學長は昨二十日午前七時十五分歸長し、直ちに大學に入り午後一時より教授會を開き、激論の末午後七時半總辭職決行に決定其旨聲明を發した、尚副手、學生は午後二時三十分に教授の總辭職要求の聲明を發し、代表二名は文部省へ陳情のため午後一時上京した

永生公司所有船 煙草密輸

（大連國通）當地永生公司所有中國置籍船鹹大號は過般來頻々と煙草を營口に密輸しつゝあることを憲兵隊が探知し十九日船長市內久方町十二番地家石正重（五〇）を召喚取調中であるが、事件の裏に市內某煙草卸賣店と稅關吏が結托して居る疑ひあり、引續き搜査中である

組合銀行は 卅一日も休まぬ

新京組合銀行では年末三十一日は日曜日に相當するが年末金融を圓滑に計る爲市內五銀行も平常通り營業する筈で一般商人取引決裁上頗る便である

赤峰の米價昂騰 對策として 當局水田經營計畫

（奉天廿日發國通）日本軍入城後の赤峰に於ける米價は著しく昂騰しつゝあるが、之が充分なる匡救策無く、漸次邦人の進出に伴つて益々昂騰、現在一石四十八圓であり、邦人の進出を阻害するので當局では之が緩和策を考究中であつたが、今回縣下第六區に曾つて蒙古人が經營してゐた水田を湯玉麟が沒收、事變前迄農民を强制的に使役經營してゐた五百天地を復活、安全農村を設置すべく計畫着々準備中である、因に之に依り收穫される米穀は五萬石である

漢字紙は― 東の國に異變と
邦人は皇太子御降誕の瑞兆
金土星逢ふ瀨の謎

（天津廿一日發國通）昨廿日午後六時頃西の空に懸つた細い四日の弦月の下の方に當つて巨大な星が爛々たる光を放つて、道行く人々の眼を驚かせた、右に就き漢字紙の報ずるところに依れば、日沒後に見られた星は既に月を通過して西へ廻つた金星であるこの奇現象が見られると間もなく東の國に異變が起ると報じてゐるが、在支日本人間ではこれこそ近く皇太子御降誕の瑞兆であると喜んでゐる

榊原曹長 遺骨着く

線區司令部附故榊原曹長の遺骨は二十一日午前七時着列車で四平街から送り屆けられた

奉天野戰航空廠落成

（奉天國通）豫て新築中だつた鐵西關東軍野戰航空廠はこの程完成したので、廿日午前十時半から同廠組立工場內で落成祝賀會を開催、山內奉天神社神官祭主となり式典を擧げ、瀨戶航空廠長の經過報告あり、之に對し井上獨立守備隊司令官の祝辭あり、十一時式を終つたが、式後工場內を見學續いて祝宴を張り散會したが、出席者は井上司令官、土肥原特務機關長以下在奉將校蜂谷總領事、粟野事務所長、兒玉航空會社副社長、其他關係者三百餘名出席、盛會を極めた尚午後からは種々の餘興ありこの盛儀に興を添へた

黑河に 娘子軍の大進出

（チチハル發國通）最近ソ滿國境の重要地たる黑河に於ては娘子軍の進出目覺しく、當地憲兵隊に入つた情報に依れば現在邦人は二百五十名程在住して居るが十一月二十日の調査によると娘子軍は僅か二十名足らずであつたが、最近黑河を目指して進入して來る娘子軍は目立つて多く現在五十名を突破する狀態に在り此の儘放置せば益々增加する見込みあるに鑑み當局に於ては共倒れを憂ひその對策を考究中である

軍と記者團の 忘年會

關東軍司令部と新京日本記者協會の忘年會は二十日午後六時から料亭曙で開催出席五十名當番幹事を代表して中村大朝氏合同主催であるから挨拶をぬきにし大に愉快に一夕を過しませうと開會の辭を述べ開宴、之より先宴會係を設け余興その他の準備が整へられ福引が始められたが岡村副長當籤の愛國號昇れば空に輝くで卷煙草朝日、喜多大佐に少將候補は大佐で燒鯛一尾秋山中佐に三尺もある大提灯、宮脇少佐に藝妓一馬、志村大尉に日本軍の連戰連勝は參謀新らしいで、白木の三寶、原大尉に今夜の福引は大當りで大火鉢なきから協會員にも奇拔なのが續々と與へられた、一太郎ヤーイで叫子一つ、女給のサービス係者が不要で猫イラズ一個など物騷なものもあつた、幇間櫻川一平の藤踊曙花形一馬のお孃吉三小豆のなすほなどおり盛會であつた

花街の噂 バカにすな

これは御案內でもございませうが八千代館の秀千代姐ちやんであります、姐さんとよぶにはあまりにちいさくあります、一名スキさんと申しますさうです、それはスモールキヤフトを略したのだときゝおよびました、小さいからといつてバカにしてはいけません、さうして〳〵

×

大きい姐さんたちも顔まけするくらひに勇敢にノロケをきかせます、あのうね、あたしの好きな人はね、あらア笑つちやいや、謹聽しなくちや話してあげないわ……と、すねます、イヤ惡かつたもふ決して笑はない、こうお膝におてをついて謹聽します、と御機嫌をとりますと

×

又始めます、あのね、あたしのね、好きな人は、こうしてね、それからこうして……と彼女の好きな人がこういふ仕事をする人だといふことも手まねで示します、そのかつこうはちようど昔浪花節芝居といふのがありましたね、身ぶり手ぶりの表情があれとそつくりなんです

×

ある時、割箸の間から出た辻占、それは赤い大きい字が一フムと書いてあり、その下に小さく「無關係と」……とあつた、どうも辻占の文句のやうぢやない、川柳だ、これをよんだ秀千代姐ちやん、フンと鼻を唱らして掌でまるめてポンと煙草盆の中へ、そつと拾ひあげて來ました、彼女この意味を解するのであります

けふの銀相場

鈔票對金票	一一三五
現大洋對金票	一〇八〇〇
國幣對金票	一〇九〇〇
現大洋對鈔票	九七四九一

慶安異聞 艶魔地獄

(舞台上演・映畫化)　玉水三郎　(畫)長谷川小信

(百二十七)

さゞめ言 (六)

「夫程知つてゐるなら、もう月代のお瀧さんとかに、聞くにも及ぶまいぢやないか」

三平は斯ら言つた。お八重も頷いて、

「けれども兄さんが、丸橋先生に會はうと思ふなら、お瀧さんに聞くのが一番捷徑ですよ。丸橋先生の大の仲好しでゐらつしやる金井半兵衛樣と、お瀧さんとは一方ならぬ仲……」

「さうか、それで水道端まで、驚罷で訪ねて來なすつたのだ。何でも金井樣は、近く大阪へ行きなさるとか、植金の弟子が聞いて知つてゐる」

「さうですつてね。ぢや兄さん少し待つて下さいな。私ちよいと月代へ行つて、お瀧さんに聞いて來ますから……」

來ませうよ。オホヽヽヽ」

其處へお八重は歸つて來た。そして慌たゞしく、

「兄さん。金井さんが大阪へ行つたのも本當ですよ。此頃は皆さんが、彼方此方へ旅をなさるさうですから、早く兄さんも丸橋先生をお訪ねなさいましよ。でお瀧さんが言ふには、若しも丸橋先生が、道場にお在がなかつたら、牛込榎町の由井正雪先生の道場へ行けばお目に懸れるツて……」

「オヽ正雪先生のお近づきであつたか。それで大分判つて來た。正雪先生とお前のお父樣とは、お仲好しであつた事を承知してゐる。お父樣がアヽしたお身になられてから、正雪先生からのお便りは失なつたが」

「マアさうでしたか」

「では是から行つて見やう。又と」

お八重は小走りに、軒列びの水茶屋、月代へ急いだ。

三平は以煙草入れを取出して、床几の端しに小さく腰かける。

「お八重さんの兄さん、サアお茶をお上んなさい……あのこれは、日外一緒に連れてお出での、可愛いお子に上て下さいな」

朋輩の情として、お花は紙に包んだ菓子を渡した。

「マア有難う存じます。子供にまで……何日もお八重が、お世話になつてゐます上に……何うか我儘者でございますが、お八重の所は宜しくお願ひ申します」

「イヽエ、私こそ然も姐さんの御厄介に許りなつてるんですよ。さうしてあのお子は、温和しく遊んでゞすか」

「エヽ悪戯者でして、寺子屋へ行くやうになつて、少しは私も息を吐きました」

「マア早いもんですね。お手習ひに行くやうでは結構です。貴方は若いお子持ですから、早く樂が出言つては暇もないから……おやお八重さん、又十松に會ひに來てやつてお呉れ」

「エヽ四五日中に、屹と行きますよ。あの……之れは十坊に何か買つてやつて下さい」

「ナーニそんな事をして貰はなくつても可い。今もお花さんにお菓子を頂いた……何うか宜しく言つてお呉れ」

御遠慮するを無理に、お八重は小粒を包んだのを、三平の懐に押入れた。

三平は默々として、頷きながら出て行く。其目には熱い涙が光つてゐた。

三平はそれから直ぐに、先づ手近の本郷弓町の丸橋忠彌方を訪ふたが、不在であつた。

其足で敎へられた通り、牛込榎町へ走つた。此處から我家へ歸る道順の便もあり、程なく由井正雪の門口まで來た。

日はトツプリ暮れてゐた。

十二月二十二日　舊十一月廿六日　金曜　壬戌　佛滅　開　牛宿

●一白の人　新規の計畫を起さず舊態を守ることが大吉　丙さ辛さ癸が吉
●二黒の人　内治を全ふせざれば外の事も自ら調ひ難し　丁さ壬さ丑が吉
●三碧の人　先々を思はず一時の安樂を貪れば衰ふべし　乙さ庚さ亥が吉
●四緑の人　用心に用心して人の意見を聽けば過ちなし　乙さ辰さ庚が吉
●五黄の人　中途にて疑惑の念を起し發達を妨害すべし　甲・丙さ丑が吉
●六白の人　人の言を信じ過して後悔を招くこと有べし　丙さ申さ寅が吉
●七赤の人　内外大に齊ひ業務益繁榮し悦樂を加ふべし　丁さ申　丑が吉
●八白の人　無事平穩の如く見ゆれ共不穩の氣漲るべし　甲さ乙さ壬が吉
●九紫の人　運勢上吉にして最上の引立あり幸來るべし　乙さ戌さ亥が吉

新京日日新聞
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社
電話 三〇〇〇・二三四〇番
發行人 森田久 編輯人 本間 印刷人 谷

北鐵運賃値下問題

ソ聯側の暴慢に 各地民衆は大憤慨

膺懲のため結束して起たん

（ハルビン國通）北鐵運賃値下問題に對するソ聯側の不誠意はその極を知らず北鐵沿線各地の全民衆は北鐵商工會議所の要望書及びコロンパイル代表に對する暴慢無禮を見るに及び今や全く激昂其極に達し茲に完全なる提携統一の下にソ聯當局の不誠意膺懲のため一齊に起つべく、今後の成行きは計り知るべからざるものがある

問題を中心に 滿ソ間の意見對立

（ハルビン發國通）北鐵運賃値下問題に關する滿洲商工會議所聯合委員會よりルディ管理局長宛提出せる要望書に對しソ聯側幹部が無禮なる回答を爲せるに反し、副管理局長張明哲氏宛提出せる要望書に對しては同氏は十八日附を以て頗る好意的なる回答を爲して來た、斯くて北鐵幹部間に於てはソ聯側と滿洲國側は運賃値下問題を中心に完全に意見對立するに至つた

皇后陛下には 未だ御異狀を拜せず

（東京國通）二十一日午前十一時宮内省發表
皇后陛下ニハ未ダ何等ノ御異狀ヲ拜セズ

滯貨捌きに 全能力を發揮 年末の貨物輸送方針

十二月下旬の新京鐵道事務所内貨物輸送方針は大要次の通りである
十二月中旬中における管内持込は概そ八千キロトン台を上下してゐるが、糧穀税徴收と噂傳るや各驛の持込俄に殺到し十九日の如きは二十日に比し一千キロトン餘の増加を見、當日現在（十九日午後六時）管内における在貨は三萬五千キロトン餘に及び又接續線方面は京圖線の一萬三千キロトン余を始め四洮々昂線の八千七百キロトンを合して、二萬一千七百キロトン余となり、總額五萬六千キロトン余の在貨を下旬に持越した、然るに下旬は各驛の想定に基けば一日八千四百キロトン余の持込豫想なれども糧石税徴税が二十日から實施されることが財政部から發表されたので一般にこれが手續に不慣れその他の原因により前記の持込は必然減少を見るべく、又一方集團的特殊輸送も略一段落を告げ、貨車繰りも稍緩和氣味なるをもつてこの機會を逸せず輸送全能力を發揮して管内は勿論接續線方面の滯貨捌きに努力する方針である

本年度棉花 買付量は 百四十五萬俵と諒解成立

（デリー十八日發國通）日印會商が成立した場合本年度の綿布輸入量は過去三年の平均棉花買付量たる百四十萬俵とすることに諒解が成立した模様で、これによれば本年は綿布三億九千四百萬ヤードで輸入可能である

日英協議 岡田代表語る

（ロンドン二十日發國通）日英民間協議會に關し、日本側代表岡田源太郎氏は十九日記者に左の如く語つた
明年一月の協議會に於てはランカシャ側から正式交渉開始に關する具體的提案が出されるものと思ふ、ランカシャ側は出來得る限り速かに正式交渉を開始する意嚮らしく自分の方も亦日本からの訓令のあり次第之れに應ずるつもりであるが、デリーに於ける日印會商のけりが着く迄は我々に協議確捗に必要な權限が與へられるかどうかは疑はしく、從つて明年一月の會合も一日だけで終り日本側がランカシャ側の提案に就き具體的説明を聽取するに止まるだらう

名古屋地方の左翼分子檢擧 二十七名起訴さる

（東京國通）廿一日午後一時解禁 名古屋地方に於ける全協共青等共産黨の一派は三、一五事件、四、一六事件等の一齊檢擧により表面潰滅した如く見えてゐたが、其後昭和六年末一一、一一事件後非合法的に潛入した元日本共産黨中央オルガナイザー、杉本文雄（三二）及び昭和六年末の一一事件により起訴猶豫中の丸山賢三等が

『中心』となり、昭和七年初めから全協中部地方協議會の再建運動に着手して漸次擴大し同七年七月頃には全國に率先して中部協議會を組織し日本化學、日本交通、日本土木建築、金屬勞働組合の中部支部を組織し、その後益々活潑な運動を續け、コップ愛知支部、全農愛知評議會日本反帝同盟愛知支部と密接な聯絡を遂げ、九月四日の共産デー八月一日の反帝デー等あらゆる機會に組織を進め、黨の擴大を計つてゐたが、たまたま昨年十月卅日

『熱海』に開かれた日本共黨の代表者會議の大檢擧により、中部代表小笠原幸次郎が檢擧された事により、愛知縣警察部特高課では更に内偵を密にしてゐたところ本年一月頃に至り全協、赤救、反帝日本共産青年同盟、日本共産黨中部地方協議が組織されてゐる事が判明し、更に昭和八年一月廿七日夜名古屋市西批杷島町鮮人家屋の某所に全協中部地方協議會の擴大會議ある事を探知し、同夜より名古屋地方裁判所河村檢事及當時の愛知縣高野特高課長

『指揮』の下に全市係を總動員し、新聞記事の掲載を禁止すると共に前記全協中部地方常任委員杉本文雄以下名古屋、豐橋、岡崎の三市に亘り左翼分子の檢擧を行ひ一方名古屋高商、名古屋高工名古屋醫大内にも日本共産青年同盟の組織ある事を探知しこの方面からも廿餘名を檢擧三月二日迄に合計百九十七名を擧げ、峻烈なる取調べを行つた結果、同三月末内九十七名を檢事局に送り

『爾來』同局に於て取調中であつたが、この程取調べ一段落を告げ、内廿七名を起訴し、四十六名を起訴猶豫、五名を起訴留保處分に附した

滿洲國各省 主要地の人口 滿洲國民政部調べ

民政部の統計に依れば本年十一月末現在内地人滿鮮人及び外人の數左の如し

地名	滿人	内地人	鮮人	外人
新京市内	一三八、四七一	一、八〇三	一、八四八	三三
新京市外	四七、三〇三	五	三八四	二
奉天市	三六三、二六六	二、八一〇	三、五三〇	七五五
哈爾濱市	三七九、八一八	八、〇八六	五、三五四	六三、二二〇
海城縣	六五〇、三三四	一〇八	二五	三二四
錦縣	四一五、〇八八	一、八三〇	三二一	二、三三四
安東	三三一、二〇八	未詳	一、五〇九	一、七三九
洮南	一四四、五三一	三四三	四一二	六六七
通遼	一三四、六六四	二五一	四一	六六九
開原	二八四、九二三	一三五	三、七八六	三、八二六

これは各省別個に獨自の組織になつて居り、その間何等の聯絡なく、從つてその效果も微々たるものであるため、これを全滿的に法律に依つて統制せんとするもので各省には省聯合會を置き、新京に全省聯合會を設置し、以て組織の擴大强化を計るべしと云ふにある、該法實施後の滿洲商業界に及ぼす影響は甚大なものあるとして非常な期待をかけられてゐる

商會法 明春四月迄に成案實施を見ん

（大連發國通）滿洲國實業部工商司にて目下鋭意起案中の商會法は明春四月迄に成案實施を見んとしてゐるが熱河を除く各省には現在二百二十四の倶樂部組織によるものあるも

滿鐵辭令

四平街機關區機關士 技術員 南義一
同 森口熊太郎
同 春日三雄
新京機關區機關士を命す
新京鐵道事務所 技術員 内田信夫
新京保線區工事助役を命す
公主嶺地方事務所外勤助手 甲備 古栖重樹
新京地方事務所外勤助手を命す

滿洲國辭令

任專賣公署事務官（薦任五等） 劉寶麟
遼源專賣署長に派す 馬錫麟

任專賣公署事務官（薦任五等）
新京專賣署長に派す
特殊警察隊警正 松島清二
依願免官

大亞細亞青年聯盟結成に 蒙古から加入申込

（東京國通）一九三六年は亞細亞民族の危機であるとの意味から日滿青年が自發的に大亞細亞青年聯盟を結成した右運動は八月九日滿洲産業建設學徒研究團と滿洲青年代表とが新京で日滿青年大會を開いたことに端を發し、日本本部が十六日東京に設けられるに至つた、同聯盟は今後各地に支部を設け大學、專門學校學生を糾合するが、早くも蒙古から使者を新京に派し參加を申込んで來た

滿洲國政府の 新鐵道建設計畫 滿鐵に請負はして

滿洲國政府では建設費總計約七千六百九十萬圓を以て左記諸鐵道の建造を滿鐵に請負はしむることとなつた
（一）圖們—牡丹江線
（二）口北營子—遼源線
（三）北安—二站線

長崎醫大は事實上丸潰れ 助教授、助手卅九名も揃ひ遂に辭表を提出す

（長崎國通）長崎醫大教授の總辭職に對し、助教授十九名及び大學部助手の廿名は教授と運命を協力する事となり、即日辭表を小室學長に提出した、之で長崎醫科大學は事實上總潰れとなつた譯である

醫大教授會で聲明書を發表

（長崎國通）廿日午後總辭職を敢行した長崎醫科大學教授會では左の如き聲明書を發表した

聲明書

事件發生以來隱忍自重を以て事に當りたるも今日の事態に立至りしは余等の擔へる國家の重責に鑑み甚だ遺憾なる次第に就き不明を天下に謝すると共に此處に重大なる處決をなしたり、然れ共尚冷靜に本務に從事し大學及大學病院の機能に支障なからしめんことを期す

吉林省内 宣撫工作 各地に亘つて

吉林省では滿洲國王道政治の實体を省民に理解せしめるため宣傳班、施療班、活動寫眞班の三班をもつて宣撫班を組織し二十一日から明年二月十日まで五十日間左記二十一ケ所で宣傳教育を行ふこととなつた

（巡回出張地）舒蘭、五常、樺樹、德惠、農安、扶餘、長嶺、双城、哈爾濱、阿城賓江、方正、延壽、珠河、葦河、寧安、盤石、樺甸、伊通、双陽、九台以上二十一個所

（宣撫班の組織及内容）宣撫班は吉林省立常完君下勇氏を班長とし右の三班に分つ

稅關吏講習會

滿洲國財政部にては稅關吏の素質向上を圖り全滿稅關新規採用者の長期講習を行ふ事に決し明年一月五日より大連稅關に於て第一回講習會を開催する筈で授講者は五十名に達する豫定であると

新京圖書館の閲覽 册數は殖ゑて人員は減る

新京唯一の讀書機關である滿鐵圖書館は各方面に亘る書籍を豐富に取揃へ社員外一般民衆にも解放讀書家の便宜を計つてゐるが、一面に於てはルンペン連の集合場所として相當の閲覽者とも云ふべき者が日々數十名に達してゐる、雜誌類で一番多く讀まれてゐるのはキング講談倶樂部等で其他類似雜誌がこれに次ぎ雜誌の不足を告げる好況である、本年十月迄の閲覽册數は合計八萬一千二百三十四册で一ケ月平均八千百二十三册強一日平均三十二册閲覽人員五萬八千八百四十三人一ケ月平均五千八百八十四人強一日平均百九十六人弱で昨年同期間に於ける比較は册數に於て六千五百册の増閲覽人員は反對に七千五百十二名を減じてゐる

鐵道事務所で 手荷物取卸し研究

新京鐵道事務所ではさきに管内各驛につき旅客列車停車時間に取卸し得る手小荷物の數を調査したがこれに基き各驛の手小荷物取卸標準個數を定めこれを超過したときは列車乘務荷物方は少くとも二驛以上の前驛より當該到着驛に豫告をなし、この豫告を受けた驛では荷物卸苦力を準備したり、その他の手段を用ひて取卸を敏速にし旅客列車の所定停車時分の延長を來たさざる樣、遲延防止策として二十日から實施にとりかかつた

列車運轉改正

甘井子、入船驛、大連、大石橋間各驛區列車運行は左の如く改正された

一、運轉列車—入船、大石橋間
下り第二五九列車、十二月廿二日入船驛發より、上り第二五六列車、十二月廿二日大石橋驛發より、上り第六〇列車廿三日、大石橋驛發より、甘井子、大石橋間下り、第二八一列車、廿三日より、甘井子、南關嶺間下り第二五八列車廿三日より上り第二八四列車廿三日より

二、關子萬家嶺間—下り第四五九列車
十二月二十二日より、下り第四三列車、十二月二十四日より、入船南關嶺間休止列車、下り第二八五列車二十三日より、上り第二八四列車二十三日より、本改正に伴ひ入船、大石橋間は十二月二十二日入船發下り、第二八五列車の運轉は休止される

前田理事披露

滿洲電信電話株式會社理事前田直造氏は二十日午後七時から市内有志多數をヤマトホテルに招待し盛大な披露宴を張つた

四平街 獸肉販賣 一齊取締り

四平街署管内の獸肉販賣營業者取締りに就て四平街署では嚴重之れが完璧を期して居るが食肉多量の需要季に入りたる昨今營業者にして不正獸肉の販賣等を爲すものはかり難いので四平街署では去る十四日管内一齊に臨檢取締を施行したが戒告に止めたるもの二十九件申告處分を爲したるもの四件であつた

傳染病發生狀況

四平街附屬地に於ける本年一月以降の傳染病患者發生情況は昨年の二百十二名に對し二十一名の減少で死亡二十四名に比し四名の減であるが其の内譯は左の通りであつた（十九日現在）

病名		昨年	本年
赤痢	發生	六九	一〇五
	死亡	八	六
腸チブス	發生	一四	二七
	死亡	二	五
ヂフテリ	發生	五	四
	死亡	二	一
猩紅熱	發生	九五	四二
	死亡	九	七
パラチフス	發生	一〇	五
	死亡	一	一
疱瘡	發生	一九	七
	死亡	三	一
流行性腦脊髓膜炎	發生	一	一
	死亡	一	一
計	發生	二一二	一九一
	死亡	二四	二〇

第二期特別警戒

四平街署では年末季を目前に去る十日より第一期特別警戒を實施してゐるが今や旬日に迫つたので第二期特別警戒に入り署長以下全員總出動嚴寒氷點下に立つて二十一日より晝夜嚴重なる警戒網を張りつゝある

人事往來

伊藤氏離京 十九日大連から來京中であつた伊藤滿鐵社員會幹事長は各方面と懇談打合せ中であつたが二十一日午後四時三十分發列車で歸任した

天氣と氣温

けふの天氣豫報は西の風晴れ けふの氣温は最高零下十一度九最低零下二十一度六

電々會社辭令交付
社員はホツと一息

かねて社員心配の種であつた電々會社の社員辭令は十月一日成立以來三ケ月目の十二月十九日漸く辭令を交附され一同ホツと胸撫でおろしたが、俸給は何れも約五分方の昇給であつた

新年放送
菱刈大將にも懇請

一九三四年を迎へんとする新京中央放送局では新年放送として菱刈司令官、鄭國務總理其の他要人に懇請して記念放送をなすことを計劃中である

鰮の壜漬
近く新京へ

青森縣八戸市の水産會と同縣の水産試驗場が共同で製産中の滿洲向鰮の壜漬は二十日五十箱を八戸港から積み出したが、一箱十六貫入千二百尾から二千尾で滿洲國のお正月用に間に合ふ樣送荷した

新京領警管內
日鮮人口

本年十一月末日現在における新京總領事館警察署管內の日鮮人々口及戸數左の通りである
人口　內地人、四四四二名鮮人三七五五名合計八一九七名
戸數　內地人、一三四三戸鮮人　八〇四戸合計二〇四七戸

拉賓線の運賃
二十三日發表

此程工事完成した拉賓線の開通式は豫定の如く十六日哈爾賓に於て盛大に擧行されたが全滿商人待望の焦點たる運賃率は來る二十三日發表する事に內定した

民政部の
地方財政會議

民政部に於ける地方財政會議は二十日午前十時より同部會議室に於て開催尚は二十一日午前十時より引續き討議した

姓名判斷
無料で鑑定

東洋哲學會の究市明哲氏は今回某重大要務を帶びて來京、日本橋通り常盤旅館に投宿各方面との折衝を續けてゐるが今回の來京を機として、氏がかねて研究してゐる姓名判斷學を一般のため公開、廿一日より一月五日まで、同旅館で希望者の為無料で鑑定すると

樂しいクリスマスの準備
さかんな舞踏會や晩餐會の催し
ロ……各教會でも余興の練習に早くもお祝ひ氣分

クリスマスの切迫につれ、市中のクリスマス氣分も漸く高潮し、市中基督教會では、クリスマスの夕べの準備に大童となり、中央通り日本基督教會の會員は、當日の

＝余興＝　や歌劇の練習を始めたが青木哲兒氏や黑田寶氏が個人的に經營してゐる私的教會では、別に余興等大仕かけのものをせず、ごく內輪の晩餐會を開くに止める、又市中に居住する白系露人は、各々各家庭で知己友人を招待クリスマスの夕べを盛大に擧行、夜は日本橋通りの露人ダンスホール、ニューモデルンで假裝舞踏會を行ふ、又精養軒、ミカサ、銀座、ゴンドラ富士等では當日クリスマスの夕べとして會員券を發行七面鳥、マカロニー等のクリスマス料理や葡萄酒で

＝一般＝　人の晩餐會を行ひキヤピタル、新京兩ダンスホールでは盛大な假裝舞踏會を開催して二十四、二十五、二十六日の三日間を騷ぎ拔くことゝなつてゐる

通遼全縣にペスト調査

通遼よりの諸報告を綜合するに同地のペストは漸次鎭靜しつゝあるも、尚間歇的に發生するので去る十六日より調査班二班を組織し、城內外に分れ城外班は自動車にて約五日間に亘り全縣下の調査を行ひ城內班は六日間に亘つて二回の調査を行つてゐる、尚今回の調査に依つて異狀を認めない時は從來閉鎖中の城門を開放し交通制限を撤廢し、鐵道運輸を復舊する事となつてゐる

暫行保甲法
けふから實施

さきに國務院會議で可決された暫行保甲法は參議府の諮詢を經て敕令第九十六號として二十二日公布されることゝなつたが公布の日より實施する

お正月の花卉類
早く申込まぬと品切れ

既報西公園事務所では正月用床の間飾りの松竹梅その他花卉の廉價分讓を二十日からしてゐるが寒さのためかお客が割合少い、それでも二十日の初日に松竹梅が十鉢餘り、花卉類が四、五十鉢も出て二十一日も松竹梅が十鉢程出た、殘りは餘り多くなく（松竹梅で三十五鉢、花卉類は百個位）に過ぎないから早く求めなければ品切れになるな尙日曜日には多數の申込みある見込み

師走の街を騷がす曲者に御用！
拳銃强盜一味九名一網打盡檢擧さる
首都警察廳が近來の大手柄

首都警察廳では管內各署を督し歲末特別警戒の萬全を期してゐた矢先去二十日午後五時ごろ九名組の拳銃强盜が突如二道街に現はれ商店を襲ひ主人に重傷を負した末現金四百元を强奪した事件があつたが直に首都警察廳並に南關署の大活動となり難なく一味九名を一網打盡に逮捕し見事功を奏した

二十日午後五時頃城內二道街八十九雜貨商積德金方へ客を裝ひたる數名の强盜侵入、二名は

＝店內＝　に殘り他は表に見張を爲し店內の二名は拳銃を二發主人孫成和（三十九）に發砲し右大腿部に貫通銃創を負はせた上へ店にあつた賣上金四百元を强奪したが同家店員は直に附近の交通警士韓麟氏に急報、同氏がかけつけるや賊は內部から發砲し裏口から逃走した、急報により南關署並に首都警察廳から係員が急行するとゝもに全市に非常線を張り水も洩さぬ大警戒をなし犯人逮捕に努めた結果、午後六時ごろ擧動不審の滿人が南關良神廟を通行せんとするを

＝張込＝　込中の金警士が誰何するや忽ち拳銃を取出し發砲した孫警長は之に屈せず勇敢に賊に組付き大格鬪末賊を逮捕本署に引致取調べると右は吉林省九台縣大波勵労州（一九）と判明し賊の自白により長春旅社その他二ケ所に潛伏してゐる一味九名を一網打盡に逮捕した、一味は三日前新京に潛入し附屬地又は城內の大商店を荒し大金を强奪せんと計畫をたてゝゐたものである功績により孫警長は二十一日修總監から表彰された

勇敢な兩警官
誠に敬服の至りだ
今江警正は語る

右に就き司法科今江警正は悅びの色をうかべて左の如く語つた

今回の孫警長金警士の勇敢なる行動は實に稀に見る事で衷心欣喜に堪へざると共に敬服の至りである尙又本件は被害者の申告の速かであつたことも大にあづかつて力があつたわけであるから今後斯くの如き被害があつた場合は被害者は勿論、向ひ三軒兩隣互に注意し合つて速かに申告して頂きたい、そうすれば大に警察當局も助かり一般社會に稗益するところ多大であつてこれこそ眞に官民一致は美風であり相互扶助の實績を擧ける事になる

歲末同情金八百圓を突破
けふ分配方法協議

既報、新京地方事務所、滿洲社會事業協會の主催で去る十四日から開催された歲末同情週間は二十日で終幕を告げたが地方事務所社會係ではこれ等各方面の篤志家から贈られた同情金の整理に轉手古舞で二十一日午後四時までかゝつてもまだ整理つかず二十一日午後四時現在まで整理濟の分だけで悠に七百九十七圓八十八錢で未整理の分を加算すれば八百五十圓余の多額に達するのではないかと見られる、二十日受附けの三十五圓の無名氏を最高に最低二錢の無名氏に到るまで思ひ〴〵に寄せられたが、この同情金の分配方法に關し二十二日午後一時から各委員、各區長が地方事務所に集つて協議すると

生駒局長
ハルビンへ

佳木斯方面の武裝移民視察の爲め來滿した生駒拓務省管理局長はこゝ數日滯京各方面を歷訪したが、二十一日午前八時三十分發列車でハルビンに赴き直ちに現地に向ふ筈

とんな匪賊

〔四平街支局發〕去る十二日午後七時頃四平街北方十二滿里孤楡樹村居住柴山俊方に步匪賊三名侵入し宿泊を强要したので柴は之れに應じて該匪を一室に導いたのち密に該地の自衞團に此由を報告、之れを聞知せる楊團長は部下八名を率ひ柴家に急行賊の寢込を襲ひ二名を捕縛したが賊は本籍梨樹縣高家園子巾無職高哲（二二）同縣王家檜子屯無職劉景春（三九）であつた

天氣の脈は醫者よりも困難
―名士の漫談―（击）
中央觀象台長　後藤一郎氏

記者「滿洲國の觀象臺が充實したら滿洲の天氣豫報も今日以上の確實なものが得られる譯でせうが完成までにはまだ相當な年數を要するのでせう」

藤氏「今のところ滿洲國內に六十ケ所ぐらひの支所を設けたいと思つてをります がこれはまだ〳〵深い將來のことです、これまでの天氣豫報は大切な奥地の方が暗闇だつたのでから全く想像してやつてゐたので完全な豫報とは言ひ得なかつたのですが今後は漸次確報が出來ると思つてをります」

記者「本年度は何處々々に支所を設けられますか」

後藤氏「海拉爾と黑河の二ケ所へ設けます今のところこの方面が最も急を要してをりますから……」

記者「天氣の脈をみるのも醫者が患者の脈をとるやうなものでなか〳〵困難ですね」

後藤氏「相手が相手だから聽診器を耳にあてたり手をさつて脈をとるのよりはちとむづかしいでせうね……滿洲國は廣いのは廣いですが日本のやうに島が散在してをらずまとまつてをるから氣象を觀測するには支所が面積の割合に少くて好都合です、これまでは國內の產業施設は日本の氣象を基調としてやつたものですが考へてみれば實にべら棒なやり方です、今後は產業開發上の大きな原動力ともなり東洋の氣象界にも巨火を投ずることになります」

記者「宍戸さん（觀測所新京支所長）も早く滿洲國の氣象台が完備してくれなければ困るとこぼしてをられましたよ」

後藤氏「今に確實な豫報が出來るやうになります」

けふは冬至

けふ二十二日は冬至に當りますす內地では昔からこの日に南瓜をたべることが年中行事の一つのやうになつて居ります冬至の日を中心に前後十日間ばかりが一年中で一番晝が短かく晝が九時間と四十五分、夜が十四時間と十五分でそれが絕頂で二十八日からぼつ〳〵晝の時間がのびて行きます、冬至の日を限りで暦の上では冬を過ぎて春に入るので太陽は春の第一步に入る譯です、地上ではこれからが本格的の寒さが來るのですが、太陽の位置が北球から最も南に傾いた瞬間を冬至と云ひ、日の出も日の入りも極南寄りとなつて正午にも遙南天の空低く太陽が輝くがこれからだん〳〵北に戾つて來るそれで夜の長いのがだん〳〵反對になつて來るわけとなるのださうです

暴行事件の岸田氏へ非難
徹底的處分を要望

十九日附本紙上に特報された關東軍補導部員岸田氏の暴行事件は、俄然全新京在鄕軍人間の問題となり、今日まで、幹部間に於て善後策が講じられてゐたのが、在鄕軍人全員の憤激となつて、徹底的處分を要望するに至つたが、事件が一個人の被害に止まらず將來の移民上にも惡影響を及ぼすところから關係方面では事の成行きを頗る重大視してゐる

馬賊十三名
農民を襲ふ

〔四平街支局發〕去る十七日午後四時頃四平街東北方約六十滿里靈神廟部落附近に系統不明の騎馬賊十三名現れ折から通行中の農民任長生外二名を襲ひ同人等の攜し居たる馬四頭、大洋三十元を强奪したる上任に發砲し胸部に貫通銃創を負はせ北方に逃走した

一時間半の馬車賃タツタ金一錢也
馬車夫憤慨して屆出づ

二十日午後九時から十時半頃まで約一時間半を馬車に乘り賃銀として一錢を出して逃げた內地人があり馬車屋は二十一日朝新京署へ憤慨して屆け出たが馬車夫の陳述によると東二條通から客が乘り南廣場や所々方々を家でも探す樣な風で幾度となく漫々的と車を止め散々乘廻した揚句三笠町通りで馬車を降り橫道に這入つたので馬車夫は追かけ賃銀を請求したところ一錢を與へたので文句を云ふと一錢を取らぬなら支拂はぬとなぐりつけ逃走したと

自動車衝突
これは三重奏
前野博士きづつく

二十一日午前十時ごろ市內西一條通と平安町の交叉點で自動車の三重衝突事件があつた滿洲國司法部專用自動車首第二〇二八號運轉手安藤光義（二四）氏が平安町から西一條に向け運轉中、中央通五番地富士屋タクシー新京二〇號佐々木西雄（二五）氏が滿鐵醫院內科醫長前野博士を乘せ平安町一丁目から二丁目に向け疾走中衝突した際、海軍部自動車二號運轉手山本貞二（二〇）氏が二台をさけんとしてこれまた衝突、富士屋タクシー乘客の前野博士は右耳朶後部に擦傷を負ひ直に滿鐵病院に收容したが生命に別狀はなく各自動車とも破損はない、右原因については目下新京署で取調中である

長春座の協議

新京署保安係では二十二日午前十時から長春座株式會社重役を招致、今後の營業對策につき協議し、且つ注意をなすことになつた

故榊原曹長
告別式を擧行

線區司令部故榊原曹長の告別式は廿一日午後四時から驛前同司令部で執行された

訂正申込

本日朝刊記事中小生に關する記事有之候處右は事實と全然反するものに有之北岡なるものとは今後何等關係無之候間全文を揭け記事御取消願上候也
昭和八年十二月二十一日　服部貞丈
新京日日新聞社長殿

訂正

二十一日附朝刊第二面記事「一崇古人の美擧」中「恤兵金五十圓」とあるは「百五十圓」の誤につき訂正

居住消息

▲守仲登氏（熊本縣）住吉町二丁目六番地ノ三十七號へ
▲尾縣豐輔氏（山口縣）上海から羽衣町一丁目二百三十八號宮本方へ
▲國友實光氏（福井縣）哈市から大和町四十二番地へ
▲岩佐清太郎氏（廣島縣）吉野町一丁目二十一番地ノ二へ
▲牧熊吉氏（鹿兒島縣）四平街から梅ケ枝町三丁目二十六番地へ
▲平野正雄氏（佐賀縣）大連から入船町四丁目二十七番地ノ二へ
▲水野宏治氏（新潟縣）朝日通り五十九番地森田方へ
▲庄村龍兵衞氏　臺灣から東三條通り五十七番地春田方へ
▲林愛吉氏（鹿兒島縣）公主嶺から平安町二丁目一番地ノ七へ
▲土倉尙之氏　范家屯から山吹町二番地興安寮へ
▲松浦茂氏　同上
▲石田武氏　鐵嶺から平安町二丁目八號ノ三へ

轉居

▲瀧井新太郎氏　敷島通の敷島寮から山吹町二番地興寮三十五號へ
▲宮地長藏氏　露月町二丁目三十四號から花園町二丁目二十四番地ノ二へ
▲宮田竹三郎氏　三笠町一丁目四番地から花園町一丁目二番地へ
▲守屋治夫氏　新京驛貨物事務所から山吹町二番地興安寮十八號へ
▲押鐘一平氏　花園町二丁目二號から敷島寮へ

吉凶禍福

▲入船町二丁目二十五番地竹田秀三郎氏十九日午後十時三十分死亡

新商工會議所令の發布は

對滿鐵關係を複雜にする

(大連廿日發國通)數年來の懸案となつてゐた滿洲商工會議所令は愈よ實現の氣運に至り、明年四月一日施行令の發布をみるものとみられてゐるが、之に對し從來全滿商工會議所に補助金を出してゐた滿鐵は、法令の施行をみれば附屬地に於ては商議の一會員の立場になるか如何なる問題を生ずるか、他の會社と性質を異にする滿鐵としては其特殊性の無視、乃至は喪失を意味する法令の施行は容易に首肯出來ぬとなしてゐる、殊に滿鐵が附屬地に於て產業政策上商議の一會員たるも、行政權を有し商議を統轄してゐる滿鐵との關係が顚倒的立場となり、地方事務所の如きはその職制上二重人格的地位に置かれるので、此の點に何等かの解決策が無くては滿鐵としては解決出來ぬ難解な問題となり、右に就き某氏は語る

令の問題等で云々するのじやない、令の問題はこちらの意向次第でごうにでもなる事だが要は滿鐵の特殊性をこの一事により喪失せしむるが如き法令の施行には反對だ、政府としても滿鐵の特殊性は認めてゐる事だから、若し施行されるとすれば何等か滿鐵の立場を考慮されてゐると思ふ、拓務省から意見を聽取されゝば勿論滿鐵の立場を具陳する必要がある筈だ

ラジオ講座

(十六)　新京放送局長　加藤誠之

○音量の調整法

音量が充分以上である時に之を弱めるためには次の方法のごれかを選ぶと良いのである

一、再生を弱くするこさ

再生式などは先づ再生を弱めることによつて音量を小さくするのが最も適當である過度の再生は音質をも惡くする

二、音量調整器(ヴオリウムコントロル)を適當な個所に接續使用するこさ

其の接續個所は種々あり、夫々得失はあるが普通の方法さしては低周波變壓器の二次側端子にポテンシヨメーターさして可變高抵抗器を接續するのが適當である

三、アンテナを幾らか小にするか、アンテナ線さ受信機の間へ直列にバリコンを一個接續するこさ

四、同調點よりづらして聽くこさ

一般に同調點に於けるよりも少しづれた點の方が側波帶の再生忠實度はよくなる故、充分の感度がある時尚少しづらせて聽く方が音質はよい只同調點をづらせるさ混信が增すから此の點に注意を要するのであるが一寸氣を付けて取扱へばその心配はないであらう

○エリミネーター電源の切換へ方

エリミネーターの電源たる電燈電壓は一〇〇V見當が普通であるが、所により或は夜間になるさ一〇〇V以下九〇V內外であるさいふ樣なこさがある

斯樣な場合に應じ得る加減裝置さして受信機の電源變壓器に切換スキツチ或は切換フユーズを設けたものが多い、即ち電燈電壓が九〇V內外さ認められる時には切換スキツチの方は九〇Vさしるしのある方へ切り換へる、切換フユーズの方ならば一度電燈のソケツトからプラグを拔いてそのフユーズを同じく九〇Vのしるしのある方へ挿し換へるさ良いのである、斯うすれば電壓の變化に影響されない

○高聲器及び受話器の取扱方

一、高聲器或は受話器に分不相應な大きな音を出させてゐるさ其の壽命が短かくなる

二、高聲器の調整裝置は音量に對して最も適當である樣に調整するこさ

この調整の適否によつて音質音量に著しい差が現はれる

三、振動板のひごく錆びたのは靜かに取出して目の細い砂紙で輕く錆を落し油布で拭き、後をよく拭ひ取つて置くこさ

四、受話器又は高聲器を強く投げたり落したりするさ、故障が起り易い外に、磁石が弱くなつて感度を減ずる

五、コードを動かしてガサガサさ雜音がしたり或は聞えたり聞えなかつたりするのは、コードか不良さなつたか、或はコードの取付けが緩んで居るためであるからそれ等の點に注意して見るこさが先づ第一に取るべき處置である

海の外から

口書籍型ラヂオセツト

米國ラヂオ界の一進步さ見做さる可き裝飾兼用の書籍型ラヂオセツトが現はれた、即ち一見書籍に似て開くさ完全なセツト裝置が仕組んであり、應接室、書齋等には格好のものである

口冬温夏涼の絨氈

最近ドイツの一靑年が冬温夏涼の絨氈を考案創製した所、實驗經過良好であつたので近くパテント付で大衆にお目見得するであらうさ、但し冬季は低温電流を通ずる樣毛細線を織り込んであるのである

口電波作用で寄生虫驅除

米國テブラとカ州立大學教授し、ぜし、ガイヤー博士は樹木や植物に寄生する害虫驅除に電波を應用して完全に近い實驗に成功した

口男女出產見性別比率原則

獨乙衞生學界では出產兒の男女性別に關し精密なる調査を行つてゐたが、多少の例外を除く外左記事項に一決を見た

即ち一般の正式夫婦間では膣の酸性さ精液のアルカリ性さがよく調和してゐる爲め男女略均等の出牛率を見るが、夫がアルカリ性が強いさ男許り妻の酸性度が高い時は女兒の出產が多いさ

中央公論

十二月の躍進

附錄、附錄、新年號の雜誌はこれもこれも尨大な附錄のおまけでこけおどかしに讀者を釣らうさしてゐる、だから肝心の本誌の方はお留守の形で平凡なお臺所記事や讀物で埋め合してゐるものが多いこれは近頃の變態的な現象で雜誌の正常な發達を妨げるものさ言はねばならない

ひさり婦人公論がこの濁流に捲き込まれないで、さにも角にも雜誌の本領を忘れず、高級婦人雜誌らしい品位さ落着きを保つてゐる態度は大いに賞讚していゝ、その附錄にしてもごこまでも家庭的知識的さ云ふことに目安をおいて、「家庭遊戯全集」「新運命判斷」さ「生理、女の一生」さを添えてゐるのは、實用さしても讀物さしても新年に相應しく知的婦人層に喜ばれるこさ請合だ

さて本誌がごこに全力を注いでゐるかは、その小說欄を見れば直ちに肯かれる、大佛次郎の「樹氷」細田民樹の「黃菊白菊」吉田紘二郎の「春の逃げ水」サトウ、ハチローの「青春音頭」長谷川伸の「道中女仁義」江戸川亂歩の「黑い虹」等の新載小說をづらり列べたところは確かに他誌を壓倒して見事である、良心的な作家の人選にも好感がもてる

讀物で先づ目につくのは見玉誠の「滿洲チフスと妻」の一文例の大連殺人事件の勝美夫人の前夫君で博士が郷里信州の片田舍で發表した手記で、新聞にも發表されなかつた當時の模樣を自ら語つた點興味百パーセントである、滿洲チフスの研究に餘念なかつた博士、そのチフス菌にも等しい夫人勝美、未發表の事實等々が織り込まれたところ、正に新年號のヒツト、有閑女性への一大警鐘だ、あの謹嚴な博士にこれだけのものを書かせた編輯者の努力は多さすべきだ

次に最近日本全土を驚歎のどん底につき落した教育疑獄、帝都小學校長、視學等の瀆職事件を取扱つては、一時容疑者であつた久保田校長に「致へ子さその家庭へ」を、現職二教員に夫々同事件を批判せしめ、機敏な頭のよさを見せてゐる、未だ問題が渦中にあるだけ、子女の教育に關心を持つ者の一讀すべき文字だ

故の伯爵吉井勇の「わが歌懺悔」は傷心切々の情を歌に托して歎き去つた妻へ與へた書低劣無恥な有閑女性を妻に持つた男の自嘲の挽歌だ

「女の一生」座談會は「女の一生」の著者山本有三を中心に會する面々下村海南、三宅正太郎、高良富子、山川菊枝の諸氏、主人公允子の成長を通じて初戀の問題、結婚離の問題、私生子の墮胎、子女の赤化問題その他十數問題を眞面目に討議した座談會の白眉であつて、教へられる多くのものを持つ

實話「友情を戀愛と誤られて困つた經驗」四篇さその批判は異性間の友情さ戀愛さの問題を正しく究明したもの「死地から友情に甦つた私」の實話二篇の美はしい友情に心をうたれる

勤勞の自由を說いて有閑女性の反省を促した佐々弘雄の「私の新しき自由へ」、菊池寛の「私の戀愛訓」筆を改めての蘇峰隨筆、いづれも本誌ならでは見られない三讀すべき珠玉篇である

最後に本號から連載の「世界女性評傳」本月はエレン、ケイを本間久雄が擔當してゐる同じく新連載に山川菊枝の、「女性時評」さ岡倉由三郎の「人情月評」がある、山川氏の筆鋒は益々鋭く正に天下一品岡倉氏の月評には英國風の品位がある

ラヂオ

二十二日(金曜日)新京

午後五時 〇分　子供の時間 コドモレコードコンサート

同　五時三〇分　ニユース(英語)

同　五時四〇分　ニユース(露語)

同　五時五〇分　ニユース(鮮語)

同　六時 〇分　ニユース(東京より)

同　六時二〇分　語學講座(滿語)講師 高宮盛逸

同　六時四〇分　語學講座(日語)講師 植松金枝

同　七時 〇分　演藝(滿語)

同　七時三〇分　講演(奉天より)艶春院 金香

同　八時 〇分　ニユース(滿語)

同　氣象豫報、プロ豫告(滿語)

同　八時二〇分　時報(東京より)

同　八時四五分　ニユース 氣象豫報 ニユース

同　九時 〇分　演藝(奉天より)

引續明日のプログラム豫告

日本の聖女（讀上演上映）

生田葵　作　南部龍平　畫

密議（四）　（九）

役向の事にて少々御たづね申し度き儀有之候まゝ、遣ひに遣はし候此の駕籠にて、即刻お越被下度待入候

紀伊國屋お春殿　　神山庫之進

短い書狀を認めて文箱に入れると、仲間の六助を呼んだ。

文箱を渡しながら、お春の住居を詳しく敎へ、途中、駕籠を雇つて、お春を急いで迎へて來い、と命じた。

日は、今暮れたばかりであつた。

仲間の六助は駕籠をやめて、途中下河原の住居を尋ね當て命ぜられた文箱を渡した。

待設けて居たことではあつたが、まさか今日が今夜とは思つてゐなかつたので、庫之進からの書狀を受とつたお春は、少しはあわてた心になられた。

しかし、すぐ、心を靜め、六助に些と待つて貰ひ、有髪の尼の身とは受とれぬ程、濃い化粧を凝らし、衣裳にしても派出やかなものを纏うて、迎ひの駕籠へと乘つた。

六助が急げ酒手をはずむと言つたので、輿夫は始めから威勢よく驅け出した。

その後について、六助も、走つた。

然うして、お春を乘せた駕籠が庫之進の家の門の前へおろされたのは、六助がお主から文箱を受とつた後、半刻餘り程しか經たなかつた。

庫之進は少し以前に夕げを終り、お春は果して來るか何うかと氣遣ひながら、その間の時刻潰しに、役所から受とつて來てゐる書狀を入れた手文庫を手許へと運んで來させ、中から書狀をとりだして、あれこれと目を通してゐた。

無論その中にはお高が深川屋敷から奪ひとつてくれと頼まれた、誅すべき謹王方浪士の人別帳も這入つてゐた。

仲間の六助が若い婦人を連れて歸つて來たとの知らせを女中から聞いた庫之進は踊り上るやうな心地になつた。

それを、氣ぶりにも見せずに、奧まつた座敷に通すやうにと命じた。

然うして暫くしてから庫之進は、お春を迎ひ入れた座敷へと這入つて行つた。

明々と三つの燭臺の蠟燭の灯が左右からお春の姿を照らしだしてゐた。

夜の陰影のただよひが、美しいお春を、一層花のやうに麗はしく見せた。

『お春殿夜陰を呼びよせて氣の毒であつた』

其處へ座すと庫之進が聲を驅けた。

島田髷重たげに稍俯向き加減になつてゐたお春は、庫之進の這入つて來た足音で顔を擧げ、瞳をかけられたので、稍恥らひを見せながら、怯めずにみはつて。

『お駕籠を頂きまして恐れ入ります。今日の晝間はいろ／＼と失禮をいたしましてございます。又その節は御寄進を頂きまして有難う存じます』

と言つた。

神山は一寸、好色の目を、瞳かせて、

『手紙にも書いて置いた通り、其方に内密にたづねたいことができたのぢや』

と言つた。

『はい。どのやうなことでござりませう』

『實はな、今日の晝間私と一緒にゐた同心の岸田守衛が、其方へ疑ひをかけだした』

庫之進は口をきつた。【□】

丼に一ッの大根おろしが黄金三百枚

神醫岡本玄治の奇拔なる治療法の話

鎖國太平の 寛永時代に、江戸の京橋に加賀屋とて世に聞えた富商が居たが、其の一人息子が、或日の夕方、蕎麥を大食して胃袋の中で殖え脹へて、腹が張り裂けんばかりに膨くれ、如何ともする能はず

苦悶呻吟甚だしく 今にも息が詰まりさうなので、兩親は狼狽一方ならず、當時神と言はれし名醫岡本玄治を馳せ迎へた、玄治は容體を聞きつゝ診察して『コレは直ぐ治る、直ぐ治るが藥では治らない、吾に一術あり、小判三百枚を前金に貰はねば手を着けない』と云ふので、遽たゞしく小判三百枚を差出すと、玄治は之れを懷中に納め、『それでは丼に一パイ大根おろしを持つて來い』と命じ、その絞り汁を息子に飲ませると、見る間にズン／＼腹が減り、煙草一ぷくのむ間に

岡本玄治眞像

ケロリと全快 したので、玄治は『此の三百枚は、後では請求しにくいから前金に受取つたが、吾此れを貪ぼるにあらず、富める人の金を取つて貧しき人へ施藥の料にする』と言つて立歸つたのは有名な逸話である、現代の科學は、大根の中に、澱粉質を速やかに消化するヂヤスターゼを發見して居るが、昔の玄治はヂヤスターゼを知らなくとも、夙に實地に利用して居る、漢方醫學界に於て

古來此上もなく 貴ばれて居る蝮蛇の如きも、現代科學で未だ其の成分が不明である、起死回生の奇效ありといはるゝ草根木皮藥の中にも、天然自然の極めて複雑なる成分を、現代科學で未だ檢明し切れない神秘的のものが多い、岡本玄治が嘗て

若狭に遊歴した時 里人が『鷄が卵を産まないでムダ飯を食つて困る、マムシを食はせると多く卵を産むと言ふから食はせて見たが、それでもまだ産まない、何か方法はないものか？』と聞くと、玄治は一笑して『それは蝮蛇だけではいけない、藥師と云ふ野生の藥草の實を等分に混ぜて食はすれば必ずよい』と言つたので、其の通りやつて見たら、僅に一羽の雌で、二十羽餘りの牝鷄が

毎日大きな卵を つゞけて産む樣になり大儲けをした、今でも若狭の田舍では之れを秘傳として居る農家がある、それと少し話は違ふが、蝮蛇の中でも特に貴ばるゝ赤まむしの活汁に、高山藥草七種を配合した養命酒が、人間の、頭のボンヤリした時、心身疲勞憊怠せる時、身體のシンのだるい時、劇務で骨の折れる時、足腰の冷える時、食慾の進まぬ時、血液の循環わるい時、戀愛やスポーツの時、老衰を感ずる時に最も貴ばれるのも道理である、支那では大官富豪が

多くの妻妾を蓄へて 餘裕綽々として享樂して居る精力の強さは驚くべきものがある、馬占山の如きも、滿洲の泥の中を命からから逃げ廻りつゝ、尚ほ二三の女性をつれて居たと云ふが、支那の大官富豪の多くは非常に高價な蝮蛇酒を常に秘かに飲用して居る、近頃北平、廣東あたりでは、支那古來の蝮蛇酒より、日本の赤まむし酒養命酒が、價は安いが、遙かに眞價が勝れて居るとて、排日貨を外にして好評嘖々である

鷄に卵を多く産ませる秘傳

燈臺本暗らし といはれぬ樣、吾日本同胞も一度は國産養命酒を試飲せられるがよい、嘗て體驗のある方は、今日此頃が、再び愛飲のシーズンである。見本小瓶及說明書と醫學博士の實驗集を添へて、目下

無料送呈 中であるから、東京市澁谷區上通四丁目 四六 番地養命酒本舗出張所へ直ぐハカキを出し是非御試飲あれ。同養命酒は全國藥店、有名百貨店にあり、若し品切れ等の節は直接發賣元東京市澁谷區上通四丁目四六番地養命酒本舗出張所（振替東京五八八五五番）に御注文をして頂けば急送します。